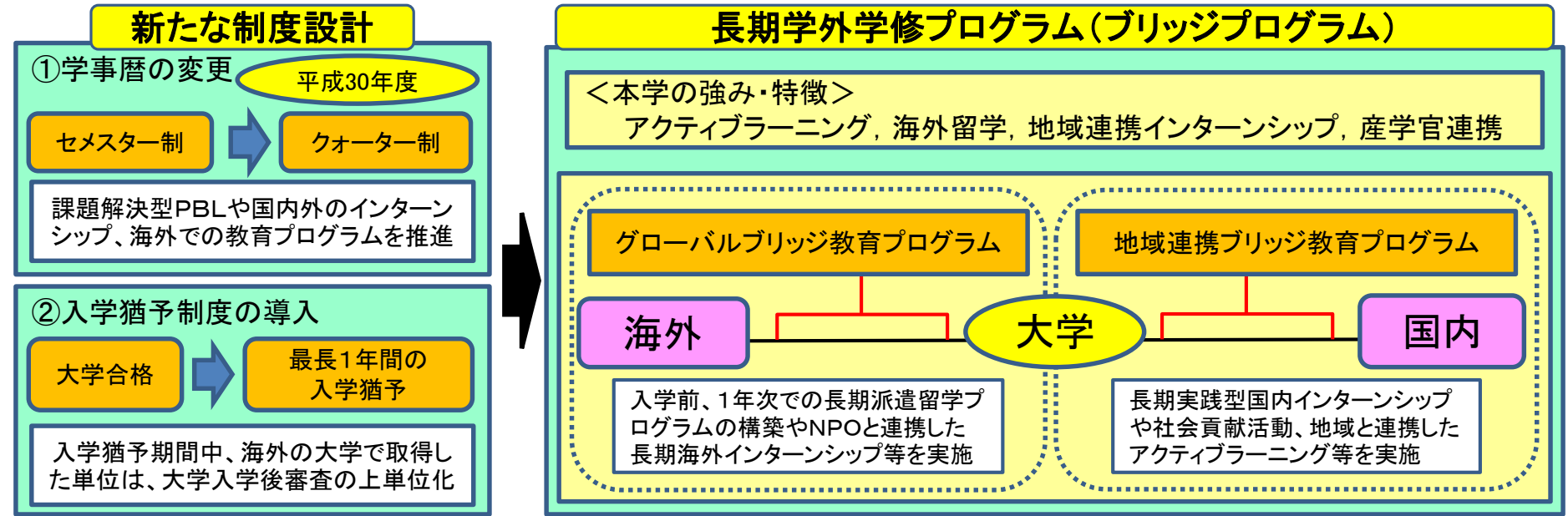


大学等名：小樽商科大学

テーマ：テーマⅣ（長期学外学修プログラム（ギャップイヤー））

「クォーター制」及び「入学猶予制度」の導入により教育課程の改革を前倒して実施し、本学が目指すグローバル人材の育成に資する多様な長期学外学修プログラム（ブリッジプログラム）を構築する。



【事業の成果】	27年度 (実績値)	R1年度 (目標値)	R1年度 (実績値)
長期学外学修プログラムに参加する学生の割合	11.6%(※1) 10.3%(※2)	20.0%(※1) 20.0%(※2)	13.6%(※1) 11.0%(※2)
学生の授業外学修時間	5.0時間	18.0時間	5.7時間
学生が中心となった起業	3件	10件	9件

※1：グローバルブリッジ教育プログラム  
※2：地域連携ブリッジ教育プログラム

- ・クォーター制の導入も含め学事暦を工夫することにより、学生の長期学外学修の参加向上を推進する。
- ・入学猶予制度の導入により、入学前の学生に世界や地域の現実と課題を経験する機会を与えて大学での学びの動機付けを促し、主体的な学習意欲の向上を図る。
- ・従来の国際交流プログラムおよび地域交流プログラムを長期学外学修プログラム（ブリッジプログラム）として進化・連携させて正課カリキュラムに位置づけることで、グローバルな視野から地域の問題を考えると同時に地域の視点を持って世界で活躍できる力を身に付けさせる。